

## 第 1 回 利根町振興計画審議会 議事要録

会議名	第 1 回 利根町振興計画審議会
日時	平成 30 年 3 月 28 日（水） 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで
場所	利根町役場 5 - A 会議室
出席者	委員 本橋会長、伊藤副会長、船川委員、五十嵐委員、花嶋委員、新井委員、石山委員、江口委員、古宇田委員、片山委員、二瓶委員、高野委員、高橋委員、中西委員、伊井委員、大蔵委員
	事務局 佐々木町長 企画課 飯塚課長、青木課長補佐、永田係長、中野主査 ジャパン総研 山下アドバイザー、竹澤研究員
欠席委員	岡委員
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 町長あいさつ</li> <li>4 委員自己紹介</li> <li>5 審議会の運営等について</li> <li>6 利根町の現状について</li> <li>7 総合振興計画について</li> <li>8 会長・副会長の選出</li> <li>9 諮問</li> <li>10 議事             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第 5 次利根町総合振興計画の策定方針について</li> <li>(2) 各種町民参加の結果報告について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民アンケート調査</li> <li>○まちづくり住民ワークショップ</li> <li>○中学生ワークショップ</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>11 その他</li> <li>12 閉会</li> </ol>
配付資料名	資料 1 : 利根町振興計画審議会条例 資料 2 : 第 4 次利根町総合振興計画 4 期基本計画 資料 3 : (仮称) 第 5 次利根町総合振興計画策定方針 (案) 資料 4 : 住民アンケート調査報告書 資料 5 : まちづくり住民ワークショップ報告書 資料 6 : 中学生ワークショップ報告書
議事内容	次ページ以降の通り

## 議 事

### 1 開会

(事務局が資料確認)

### 2 委嘱状交付

(佐々木町長による委嘱状の交付)

### 3 町長あいさつ

(佐々木町長あいさつ)

### 4 委員自己紹介

(委員自己紹介及び事務局紹介)

### 5 審議会の運営等について

(事務局が「資料1：利根町振興計画審議会条例」により説明)

### 6 利根町の現状について

### 7 総合振興計画について

(6と7を一括して、事務局が「資料2：第4次利根町総合振興計画4期基本計画」により説明)

### 8 会長及び副会長の選出

事務局：会長及び副会長の決め方はどのようにしたらよろしいでしょうか。

片山委員：事務局一任。

(一同)：異議なし。

事務局：事務局案は、会長に本橋委員、副会長に伊藤委員です。

(一同)：異議なしの拍手。

(会長あいさつ)

(副会長あいさつ)

### 9 諮問

(佐々木町長が第5次利根町総合振興計画について諮問)

事務局：会議の進行は、審議会条例第5条第2項の規定により会長にお願いします。

### 10 議事

#### (1) 第5次利根町総合振興計画の策定方針について

(事務局が「資料3：(仮称)第5次利根町総合振興計画策定方針(案)」により説明)

会長：策定方針について、ご質問、ご意見をお願いします。

大蔵委員：委員の任期は、2年とあるが、いつまでになりますか。

事務局：任期は、来年の3月までになります。

石山委員：P. 1、計画策定の趣旨、最後の文章に「基本構想を町議会の議決事項とすることを定めた条例整備を総合計画の策定と併せて進める」とあるが、具体的に教えてください

い。

事務局：自治法の改正で議決が必要なくなったが、利根町として議会を通して議決するための条例を6月に議会に上程する予定にしています。

高橋委員：策定にあたって、首都圏40km圏内でなぜ過疎指定を受けてしまったのか、考えて頂きたい。

新井委員：基本構想は最も重要であり、今後のまちづくりの方向性を明確にして欲しいと考えます。今回の計画では、特色ある計画とするための目標指標等を検討して頂きたい。

事務局：過疎指定の要件は、人口要件と財政力要件になります。人口では、平成2年から平成27年の人口減が21%が要件であり、利根町は21%でした。財政力要件では、財政力指数が0.5以下が要件であり、利根町は0.42でした。人口減につきましては、宅地開発の反動として人口減が全国より早く進行したと考えています。

高橋委員：ニュータウン、フレッシュタウンができ、人口が増加したにも関わらず、なぜ引き留めておくことができなかつたのかを考える必要があるということです。

五十嵐委員：土地利用について、今までは実現可能な構想になっていなかったもので、用途変更も含め、実現可能な構想として頂きたい。

事務局：利根町は都市整備法の関係で、用途地域の変更が難しいが、見直しの可能性があるものは、伝えていきたいと考えています。

五十嵐委員：現在は、コンパクトシティが主流になってきているので、その方向で検討していくことも必要と考えます。

片山委員：今までの人口推計は、誤差が大きかったので、今回は誤差の少ない推計データを出して頂きたい。

石山委員：P. 6の策定体制の中に、専門部会があるが、分野はどのような分野ですか。

事務局：策定委員会の下部組織となっており、分野は、「都市計画・生活環境」、「福祉・保健・医療」、「教育・文化」、「産業」、「町民参画・行政・財政」の部会となっています。

石山委員：P. 7に構成イメージがあるが、町長・教育長のヒアリングによる意向は反映されていますか。

事務局：可能な範囲で反映していますが、現状では前計画の踏襲が主になっています。

石山委員：現段階で、町長・教育長のヒアリングによる意向が反映されているのはどこになりますか。

事務局：重点プロジェクトになりますが、方向性だけになっており、具体的な施策や事業は今後反映していくことになります。

大蔵委員：重点プロジェクトに特色がないので、今後方向性を詰めていけたらと考えます。

古宇田委員：全国の課題はほぼ一緒であるが、差別化したものをつくらうとしているので、その中で良い事例を議論できたらと考えています。

江口委員：大学が6年目を迎えるので、地域と関われるシステムなど、実行できる具体策を検討して頂きたい。

## (2) 各種町民参加の結果報告について

住民アンケート調査

まちづくり住民ワークショップ

中学生ワークショップ

(事務局が「資料4：住民アンケート調査報告書」「資料5：まちづくり住民ワークショップ報告書」「資料6：中学生ワークショップ報告書」により説明)

会長：ご意見などをお願いします。

高野委員：1回目と2回目は同じ中学生ですか。

事務局：同じ中学生です。

高野委員：どのようにして選ばれたのですか。希望ですか。

事務局：生徒会のメンバーです。

高野委員：沢山意見が出ているが、出席者だけの意見ですか。

事務局：出席者だけの意見です。

伊井委員：町民アンケートの回答数が少ないが、今後アンケート繰り返し実施しますか。今回は郵送の配布になっているが、フェースツーフェースにすると回答数が増えると考えます。

事務局：前回の平成27年の調査では、無作為抽出で実施し、50歳以上の方が多く回答したが、今回は地区別、年代別に分けたので、回答数が少なくなったと考えています。

伊井委員：今後アンケートの実施予定はありますか。

事務局：後期計画を策定する時に実施します。

伊井委員：フェースツーフェースで渡せば、回収率が上がると思います。

片山委員：無作為抽出のアンケートの回収率は、この程度と考え、手間をかけると無作為抽出でなくなると思います。

事務局：回収率は40%前後が多く、誤差率で考えた場合、十分な回答数となっています。

片山委員：町民ワークショップの参加者は、どのように集めましたか。

事務局：公募とアンケート調査による希望者となっており、全員に依頼し、都合の良い方に参加して頂きました。

片山委員：参加してくれたり、希望してくれる人は、ありがたい人材なので、今後も色々な場面でメンバーになって頂き、意見を出してもらおうようにするとよいと思います。

古宇田委員：中学生ワークショップで、住み続けたいが増えたことがポイントであるので、高校がない利根町では、中学生の段階でふるさと化を進めることが必要と考えます。

片山委員：通える高校はあります。

大蔵委員：利根町だけでは、利根町の良さが見えないので、出ていくことも必要と考えます。

伊井委員：幼少期を過ごしたところは住みやすいので、出ることは大切であるが、帰ってきたいという雰囲気づくりは必要と思います。

大蔵委員：外部からきた私と住み続けてきた方とワークショップで良いと感じる所が違っていたので、出たい人は出て、見てくることも必要と考えます。

## 11 その他

事務局：次回の審議会は、5月末を予定しています。

報酬の手続きをお願いします。

## 12 閉会

以上